

和泉市学校給食検討委員会でも多数決 民間委託賛成7名・反対2名

校長委員が賛成 栄養教諭委員は反対

3月3日に開催された「第6回和泉市学校給食運営検討委員会」(委員は9名・傍聴希望者に公開)で、「学校給食民間委託」に関する多数決が行われ、公募市民委員1名と現職栄養教諭の計2名が反対しましたが、現職校長2名を含む7名が賛成したとのことです。

傍聴した方の報告によれば「討論の中では、委託による『偽装請負』の懸念が強く出されるが、和泉市教育委員会事務局は『問題ない』の立場で押し切る。最後の採決では、委託に賛成7票、反対2票。保護者代表の委員さんなど、ほとんど、何もしゃべらない方もいた。本当に生徒、保護者、市民の意見が反映されているのか甚だ疑問。」とのことです。

自校直営は和泉市の自慢だったはず

2012年春に創刊された和泉市のPR誌「いずみの国からの恋文」の創刊記念号の中では、「和泉市では半世紀前から小学校・中学校の全校で完全給食を実施」と誇らしげにPRしています。(左上写真)

また、昨年末のタウンミーティングで市長も「それに加えて、すべての学校で自校直営方式でやっていることがすばらしいんです。」と説明していました。

中学校給食の先進市として、大阪府下各地から視察が殺到した和泉市の「自校直営給食」は「和泉市の宝」です。それを民間委託することには、保護者からも反対の声があがっています。「和泉市の学校給食を見守り隊」のフェイスブック

等を参照してください。

「自校方式・調理業務委託」答申?

今回の検討委員会では、多数決が行われただけで、「答申」は出されていないようです。しかしながら、和泉市ホームページに掲載されている前回「第5回の議事録を見ると、委員長の「センター方式、親子方式、デリバリー方式などの方式についてはこの際検討の前提とはしない、外させていたでいて、自校方式を前提として検討をしよう」という形でいこうと、そうさせていたでいてよろしいでしょうか。」との問いかけに全委員が「異議なし」と答え、委員長は「では、自校方式ということ。ただ今話題になっているのは、直営方式か委託方式を導入するのか、それぞれメリツ



ト・デメリットはどうなのか、その辺につきましてさらに理解を深めていきたい、そういう風に思っています。」とまとめていることから、ここに多数決の結果を加えて、「自校方式はそのまま、調理業務のみを民間企業に委託」との方向性が示される可能性が大きいと思われるます。

泉北教組は「和泉市の子どもと教育を守る会」「和泉市の学校給食を良くする会」の構成団体として、市民・保護者とともに、給食民営化反対の運動を継続していきます。

**和泉市では 半世紀前から
小学校・中学校の全校で完全給食を実施**

学校給食の歴史

- 昭和24年
小学校で給食を実施
- 昭和31年9月
中学校で給食を実施(大阪府内初)
- 昭和34年
小学校・中学校の全校で給食を実施
- 昭和42年
栄養士を配置
栄養士による献立が作成され
市統一献立となる
- 昭和45年
牛乳の供給開始
混合乳(脱脂粉乳と牛乳を混ぜたもの)から牛乳に切り替わる
- 昭和50年
米飯開始
アルファ化米による炊飯
- 昭和54年
ランチルーム設置
- 昭和62年
お箸の導入
- 平成13年
地産産米を使用

現在の献立

1月の献立表

昭和52年の献立